

『時事直言』 No.1746 2025 年 6 月 12 日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[X(旧 twitter)] [t_masuda2019/](#)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/

[instagram] [t_masuda2019/](#)



時事評論家 増田俊男

「負けながら勝ってしまう日本」(増田俊男著、PHP 研究所)

出版 2000 年 8 月 15 日

私は本書をあえて終戦記念日に出版した。

「まえがき」で、「日本の DNA は Give and give」、
「アメリカの DNA は Take and take」であることを
事例を挙げて証明した。

政治と経済の世界で奪う者と与える者が争えば、与
える者が負けるのは自明。

日本はアメリカ(マッカーサー)が作った憲法(第 9
条)の下で日本の命である安全をアメリカに委ね、何
の見返りもなしに、丁度黒田日銀総裁 10 年間に
1,550 兆円をアメリカに与えたように、日本は血と汗
の結晶をアメリカに与え続けている。

1951 年の講和条約で日本の主権は GHQ から日
本に戻ったが、在日米占領軍は名前を駐留軍に変
えただけでいまなお対日占領を続けている。

憲法第 9 条で「、陸海空の戦力これを持たず、交
戦権はこれを認めず」と規定されている通り日本に
「自主防衛」はない。

自らの安全に責任を持たない国は「独立国」ではない。

主権の無い日本に「自主外交」はない。

自分の命も守れない、言いたいことも言えないのが日本である。

「喰うか喰われるか」、「勝つか負けるか」の世界で、与え続ける日本が勝つと言うのは一体どうい
うことか。

人を動かすのは「心」である。

ほとんどの場合、心はカネ、欲、圧力の影響を受ける。

しかし生死がかかった決断する時心は何物にも左右されない。

「心は心に従う」。



人の心は「ラストリゾート」である。

Give and take で欲しいものをもらった人は、ありがとうと口で言う。

Give and give で欲しいものをもらった人は心がありがとうと言う。

口で言ったありがとうはすぐ忘れ、心のありがとうは何時までも忘れない。

アメリカは「今日だけのありがとう」を求め、日本は「永遠のありがとう」を求める。

一時のありがとうのアメリカか、永遠のありがとうの日本か。

世界はどちらを選ぶだろうか

アインシュタインが発見した日本。

いまこそ日本人としてそれを知る時が来たのではないだろうか。

増田俊男が「小冊子 Vol. 150」を記念して皆様に Give and give 致します。

**大好評配信中！増田俊男の「インターネット目からウロコの増田塾」
いつでも繰り返し何度でも視聴可能！**

皆様からのご要望にお答えし、「株式指南」を継続的に配信するコンテンツをスタートします。
是非、この機会にお申し込みください。

【配信予定内容】○損をさせない「早朝株式指南」○本日の世界政治・経済情勢の裏（真実）
★いつでも繰り返し何度でも視聴可能。ご視聴方法：PC・スマートフォン・タブレット ※Youtube
の視聴環境が必要となります。詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U. S. リサーチジャパン株
式会社（FAX：03-3956-1313、HP：<http://chokugen.com/>）まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313）までお知らせ下さい。